

# 親 師 会 報

第 157 号

発行  
新潟県立新津高等学校  
親 師 会  
☎0250(22)1920

## 卒業生の皆様へ

親師会長 清 水 かおり



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんにとって、高校生活3年間はいかがでしたか？楽しかったこと、苦しかったこと・・・とても一言では表せないくらいの思いが詰まっていることでしょう。

コロナ禍で入学式を迎え、その後徐々に制限が緩和され、少しずつ慣例の学校行事が戻っていくという経験をし、日常のありがたさを改めて感じた高校時代だったことと思います。これから先、もし困難にぶつかった時、最高を目指せなくても最善や最適を選択し、みんなで前を向いてきたこれらの経験を生かしてほしいと思っています。そして、これまで以上にたくさんの挑戦と経験をしてください。様々な経験そのものが自分の自信になり、未来の自分を支えてくれることでしょう。

いよいよ次のステージが始まります。これまでやってきたすべてのことを力に変え、そっと背中を押してくれる周りの人の温かさを感じながら新しい自分に会いに行きましょう。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業おめでとうございます。

これまでそばで支え見守ってきたわが子が心も身体も大きくなり、新たな旅立ちを迎えた寂しさもありますが、これから見せてくれる新しい姿への期待も大きいと思います。これからは少し肩の力を抜いて、子どもを見守っていきましょう。お疲れ様でした。

最後になりますが、校長先生をはじめとした先生方、親師会会員の皆様、本年度も親師会活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。「学ぶは高き人の道」の校訓を胸に、生徒の皆さんが豊かな感性を育み、学び、輝き続ける新津高校でありますよう、今後ともご指導よろしくお願いいたします。



# DXハイスクール・高大連携について

校長 小林 英明



卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、親師会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、新津高等学校では令和6年度初めに、「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」の3つの方針（スクール・ポリシー）を策定しました。そのうち、育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）は、次の4項目となっています。

①主体的に考え、多様な人々と協働して、生涯にわたって学び続ける態度を育成します。②夢や目標の実現に向けて粘り強く取り組み、探究的に学んでいく力を育成します。③グローバルな視点を持ち、多様な価値観を尊重し、社会に参画して貢献できる能力を育成します。④共生社会の実現に向けて、互いに人格と個性を尊重し支え合う姿勢を育成します。

これからの世界は、変化が急激で、将来の予測が困難な時代といわれています。未来を切り拓き、次代の社会を創造する人材の育成が必要であり、本校では特に「主体性」と「探究的な学び」を重視しています。文部科学省のDXハイスクール事業の経費（R6：1000万円、R7：500万円）も、探究学習「Climb Up プラン」に活用しています。1学年ではデータサイエンスを活用した仮説検証型の探究活動に取り組んでおり、2学年の課題研究には、理数分野・情報分野の実験器具等も今後活用を図っていく予定です。

また、本校では、探究的な学びの充実や、将来を見据えた進路意識の向上等に役立てるために、高大連携協定を新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、開志専門職大学の4大学と締結しました。新潟大学創生学部にも、主に1学年が年間を通して指導いただいています。これらのメリットを活かしながら、今後さらに学校の特色化、魅力化を図っていきたくと考えております。

結びになりますが、卒業生の皆さんは様々な経験を通して、本校のグラデュエーション・ポリシーにふさわしい資質・能力を身につけたと思います。卒業生の皆さんの新しいステージでの活躍と、在校生の皆さんの新年度の飛躍を祈念しています。親師会の皆様には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## DXハイスクールの取組事例（令和6年度）

新潟県立新津高等学校（公立・普通科） データサイエンスを活用した仮説検証型の探究活動

### 取組の概要

- ・総合的な探究の時間にデータサイエンスを学び、仮説検証型の探究活動に取り組む。AIも活用。
- ・大学等と連携し、理数分野・情報分野の課題研究や文理横断的・探究的な学びの充実を図る。
- ・デジタルを活用した授業を実施するための設備を配備した教室を整備する。実験器具も整備する。



大学教員からのアドバイスで、リサーチクエスションと仮説をブラッシュアップ

### 実際に行っている教育活動

- 1学年 データの収集・分析方法の習得、先行研究分析仮説検証型の探究活動、ジャパンレッジスcoolの利用
- 2学年 学問分野を選択しグループまたは個人で課題研究
  - ※ 11月：1・2年合同中間発表会 2月：全体発表会 3月：代表グループ発表会（秋葉区文化会館）
- 3学年 個人で研究論文作成



新津地域交流センターでのワークショップ

### 整備・大学や企業等との連携概要

5つの大学（①新潟大学創生学部 ②新潟医療福祉大学 ③新潟青陵大学 ④新潟薬科大学 ⑤開志専門職大学）と連携 ※ ②～⑤は高大連携協定を締結済み

整備内容 ハイスペックPC、大型プリンタ、3Dプリンタ、VRセット、倒立顕微鏡、マカトロクス実習セット、理科実験器具等



連携大学キャンパスでの活動

### 育成する生徒像・取組による効果

- 本事業を活かし、育成する資質・能力等
  - ①データを収集・分析する方法を身に付け、探究的に学ぶ人材を育成する。
  - ②興味・関心を活かし、自ら問いを立て、論理的に思考したり表現したりする力を育成する。
  - ③主体的に行動し、他者と協働し、答えのない問いに立ち向かい試行錯誤する態度を育成する。
- 効果・目標等
  - ・数理・データサイエンス・AIの活用を前提とし実践的な内容に充実させた「総合的な探究の時間」の履修率100%
  - ・大学理系学部進学率40%

## 進路指導室より

進路指導主事 小林 穰

## 「Climb Upプラン」

～総合的な探究の時間の取り組み～

新津高校の総合的な探究の時間の取り組みは、「進路の手引き」にもあるように、「Climb Up」プランと称して3年間を通して、世の中的事象に関する疑問や関心をもとにリサーチクエスションを立てて、生徒オリジナルの視点を元にして課題解決に取り組んでいます。その取り組みの過程で、課題探究力、発表力、他者との協働作業におけるコミュニケーション力を身につけています。

1年生はテーマごとに班を形成し、仮説を論証するための根拠となるデータをしっかり使いながら自分の考えを論理的に検証することで、発表へとつなげる訓練をしています。この1年でひとつの事象を多面的に見つめることや、発表を通じて他者のさまざまな意見を聞くことで、自分の考えを広げている生徒の様子が多く見られています。このことは、将来の場面において、他者の考えを理解すると同時に、自分の考えを正確に理解してもらうことに役立つと言えます。

2年生は今年度高大連携協定を結んだ新潟青陵大学・短期大学、新潟薬科大学、新潟医療福祉大学をはじめとして、日本歯科大学、開志専門職大学の先生から、生徒が探究しているテーマに関わる先生からアドバイスをもらい、専門的な視点を深く探究する取り組みを進めました。また、探究アドバイザーとして毎週来校していただいている、新潟中央短期大学の渡邊彩先生からは専門分野の班を1年間を通じて指導してもらっています。アンケートを実施したり、実際に実験をしたりすることでデータを集めるだけでなく、現場に出かけて調査するフィールドワークを取り入れながら校外での活動を夏休みに行く班もあり、説得力のある発表につながっています。また、いくつかのコンテストに参加して、自分たちの探究を多くの人

に見てもらったり、他の学校の発表を聞いたりすることで、さらに新しい視点に気づくことで探究の奥の深さを知ることができています。

2月4日(火)の午後、1・2年生合同での発表会を校内で実施しました。学年を超えてお互いの発表を聞くことで、刺激を受け合い次年度への探究心が強まり、多くの課題を見つけることができました。この発表を、連携している大学の先生からも見てもらい、生徒の1年間の成果を評価してもらいました。大学の先生からのアドバイスを多く聞けることは、大学進学への動機を高め、研究に対する関心が高まると同時に、自分が興味を抱くことを研究するという大学での学問につながります。

3月11日(火)の午前に秋葉区文化会館を使って、2年生の代表班を中心に全体発表会が開かれます。保護者の方の来場も可能です。また、ライブ配信も行いますので、ぜひ生徒の発表をご覧くださいと思います。詳細についてはメールメイトでのお知らせと新潟高校のホームページをご覧ください。



(大学の先生の指導)



(2月4日合同発表会の様子)



## 進路指導室より

進路指導主事

小林 穰

### 【1】令和7年度大学入学共通テストについて

#### ① 共通テスト概要

高3生から履修している教育課程（以下、新課程）に対応した初めての大学入学共通テスト（以下、共通テスト）が、1月18日、19日の両日に、全国651会場で実施されました。

確定志願者数は495,171人（昨年491,914人）で、3,257人増加（昨年比100.7%）。内訳をみると、現役生は425,968人（昨年419,534人）で昨年比6,434人増加（昨年比101.5%）、既卒生等は69,203人（昨年72,380人）で3,177人減少（昨年比95.6%）しました。

受験者数は、外国語（リーディング）ベースで454,899人。受験率（志願者数に対する割合）は91.9%で昨年並みでした。

新津高校は221名中201名が出願し、197名が新潟薬科大学会場を受験しました。今年は2日間穏やかな天気にも恵まれて、交通関係での心配は一切無ありませんでしたが、全国的なインフルエンザの流行により、発熱による欠席者もいました。

#### ② 平均点および自己採点結果

1月24日に大学入試センターが発表した全国科目別平均点と新津高校の平均点は以下の表の通りです。

教科	科 目	(中間発表)	新津高校	
		全国平均	平均	受験人数
国 語	国語 (200)	126.9	117.1	197
地 歴	地理総・地理探究	57.6	46.9	81
	歴総・日本史探究	57.1	52.1	74
	歴総・世界史探究	66.2	53.8	24
	公共・倫理	59.8	54.8	43
	公共・政経	62.7	58.8	53
理 科	物理	60.1	31.3	36
	化学	47.7	28.6	74
	生物	54.0	47.0	41
	物理基礎 (50)	24.8	18.0	2
	化学基礎 (50)	27.1	20.1	88
	生物基礎 (50)	31.5	28.3	87
	地学基礎 (50)	34.5	21.3	3
外国語	英語Reading	57.9	47.6	196
	英語Listening	61.4	51.5	196
数 学	数学 I	28.0	24.3	3
	数学 I A	53.7	37.6	168
	数学 II B C	51.8	30.7	145
情 報	情報 I	69.5	59.2	159

#### ③ 共通テストの概要

新課程に対応して「数学」「地理歴史」「公民」で科目構成が見直され、新たに教科「情報」が追加されました。新課程に移行しましたが、共通テストの問題作成方針に変更

はなく「知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力を問う」「各教科・科目の特質に応じた学習の過程を重視する」という基本的な考え方に則った出題でした。

この出題方針を反映した問題の特徴は継続しており、複数の文章・資料や図表などを読み込ませたうえで、授業や教科書で学んだ知識を関連づけて解答を導き出す力や、得られた情報を組み合わせて多角的・多面的に考察する力が求められています。

また、問題の設定として、授業や探究学習において、生徒同士や先生との会話形式の問題や、生徒が作成した課題文やパネルに基づいた考察など、日常生活や社会の事象における「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた場面が多く設定され、学習の過程が重視されています。

#### ④ 生徒の学習変化

新課程により、「情報 I」の科目が追加されたことで、両日とも試験終了時間は18時近くになりました。少しでも得点を多く取りたい生徒はこれまでの生徒に比べて、ひとつ多い科目数に対する学習時間が必要となったことは大きな負担と言えます。国立大学は7割以上が「情報 I」の科目を課しているにもかかわらず、その配点を100点として扱う大学が少ないことで、情報の勉強にどれだけ力を注げば良いのか迷い、学習バランスの配分に苦労している生徒が見られました。

また、国語の解答時間も大問が増えたのに合わせて、解答時間が10分長くなるなど、長時間、集中力を維持しながら、多くの問題を素早く正確に解答する力が求められています。英語のリーディングでは問題の英文量も多く、時間内に話の概要をまとめる力が求められています。このような力は試験直前に身につくようなものではなく、入学したときから毎日の授業の中で、自ら考えながら学習内容を理解すること、その日のうち、あるいは1週間の終わりに復習を積み重ねていくことが、共通テスト本番での土台となって成果を発揮できることになるのです。土台となる基礎がしっかりと作られていなければ、その上にその場しのぎの知識を置いても十分な成果は発揮できません。毎週の課題や、毎時間の授業の振り返りをきちんと行うことで、自分が何を知り、何を理解したのかを自覚しながら日々の学習に取り組むことが大切です。

### 【2】模擬試験の活用

2年生の2月からマーク方式の模擬試験を受け始めます。3年生になるとマーク式（共通テスト方式）と記述式（個別試験形式）の2つの形式を通じて実力を試していきます。ただうまくいかなかっただけで模擬試験を終わらせることなく、受け終わってから復習をして、自分の力の中で「伸ばせるところ」、「伸ばすべきところ」に気づくことができるのが模擬試験です。つつい志望校の判定だけに気を取られますが、詳細な結果が個票として生徒に配布されています。ぜひ保護者の方もその内容を見て、良いところや伸びているところを褒めて応援してあげてください。

## 編集 後記

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、3年間親師会の活動にご協力のご理解を賜り、誠にありがとうございました。3年生の皆さんにとって思い出深い場所の1つとなったのが乙女坂ですが、この3年間で約480km歩いた計算になります。（片道400m×2回×授業日数200日×3年）まさに毎日こつこつと着実に積み重ねていくことの偉大さを示す数字です。そしてまたいつの日か、乙女坂を登って元気な顔を見せてください。今年度最後の親師会報となりました。原稿や写真をお寄せくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。